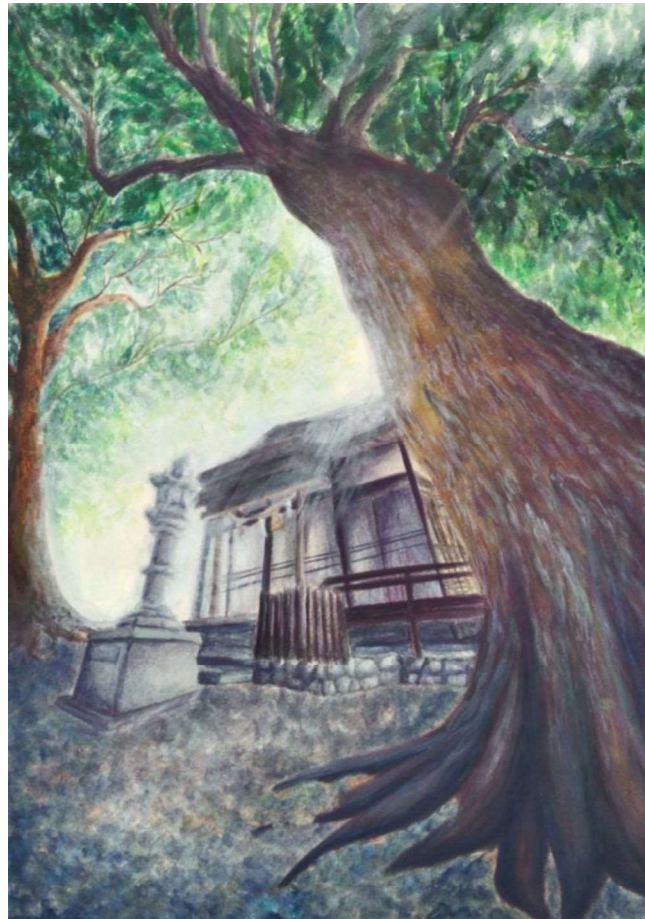




NO.161  
令和6年11月発行  
一般社団法人 埼玉県校外教育協会  
埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課内  
TEL: 048-830-6748

ホームページ

## 特集「令和5年度 校外教育協会委嘱研究」



令和5年度 第58回「郷土を描く児童生徒美術展」知事賞受賞作品

「大樹とともに過ごす日々」  
熊谷市立三尻中学校 2年（当時） 木村 佳蓮 さん

（作者から（当時））  
暑い暑い夏。木々の葉の間から降り注ぐ光だけが眩しい静かな世界。  
幼いころの遠い記憶の中、家族で行った近所の神社。「ホッとする」境内の  
雰囲気表現しました。

### 主な内容

- ・ 会長あいさつ . . . . . (2)
- ・ 令和6年度通常総会、校外教育研究委嘱 . . . . . (3)
- ・ 令和5年度校外教育協会委嘱研究の概要 . . . . . (4~7)
- ・ 第59回「郷土を描く児童生徒美術展」 . . . . . (8)

# “地球”への手紙 ～「郷土愛を育む」招待状～

埼玉県校外教育協会会長 村上博俊



皆さん、看板は！

～「郷土愛を育む」埼玉県校外教育協会～ の看板は「郷土を描く児童生徒美術展」です。

さて、「私の郷土は地球です。」と誇り高く言う時が来るまで生きていたいと思いますが、それは宇宙人に自己紹介する言葉でしょうか。いや、70億人が今やるべきだと思います。

我が「郷土」は「埼玉」ですが、大きく見ると「地球」。その「地球」が地震や異常気象で叫んでいます。訴えています（「うっ！耐えている！？」）。

さて今回は、地球に向けて手紙を書きました。

「～「郷土愛を育む」埼玉県校外教育協会～より地球へ」

人間が生きていくうえで最も大切なのはあなたです。それなのに人間は自分たちの都合を最優先にしてあなたを利用してきました。今、そのせいで、あなたの体調に異変が起き、脅威をもたらしています。

人間は体調を崩したときには休んでいます。あなたは休みなく働いています。

地震や洪水、猛暑などで自分の異変や不調を人類に伝えようとしているのに気づかない人間。いや、気づいているのに自分の都合で黙認しているようにも感じます。申し訳ありません。

私たちが豊かな楽しい生活ができているのはあなたのお陰です。それなのに、さらに戦争も・・・、あなたを傷だらけにしています。

あなたに見て欲しい展覧会があります。

あなたの素晴らしさを分かってもらえるように、毎年、埼玉県で美術展を開催しています。自然の素晴らしさ、自然と人類の発展が調和する素晴らしさ、人類の心の在り方などを子供たちに気づいてもらいたいと期待し、それを表現した絵を展示しています。

その絵がさらに多くの人に伝わるよう努力して開催したいと思います。

あなたの永遠の繁栄とご健勝を期待するとともに私たちの行動や考えを見直すきっかけにしたいと思います。

展覧会名 第59回「郷土を描く児童生徒美術展」

期 日 令和6年12月21日（土）・22日（日）

会 場 埼玉県近代美術館（北浦和駅より徒歩3分）

是非ともご覧ください。

子供たちがあなたの良さを表現しています。人間の子孫があなたの体調を改善したりより良い未来が迎えられるものと信じています。

これをお読みになった方も、是非お寄りください。私は二日間会場に詰めております。

ばったり“地球”にも会えるかも知れません。

# 令和6年度 通常総会

令和6年6月7日(金)に、埼玉県庁教育局分室で令和6年度通常総会を開催いたしました。

当日は、令和5年度決算などの2議案が提案され、全てが原案のとおり承認されました。

## 校外教育研究委嘱



令和5年度研究委嘱校による研究の概要については、次ページ以降に掲載していますので、御覧ください。また、令和6年度研究委嘱校及び研究テーマは以下のとおりです。



《令和6年度校外教育研究委嘱校及びテーマ》

### さいたま市立東宮下小学校

「地域に根ざした豊かな体験活動を通して主体的に生きる児童の育成」

### 吉見町立東第一小学校

「地域人材を生かした体験活動による心豊かな児童の育成」

### 伊奈町立南中学校

「地域との連携する活動を通し、地域に貢献できる生き生きとした生徒の育成」

### 吉川市立東中学校

「地域や外部人材等とのつながりを生かした豊かな体験活動を通した「自ら考え、進んで実行」できる生徒の育成」

## 「特色を生かした体験活動を通して、地域とともに育む心豊かな久那っ子の育成」

委 嘱 校 秩父市立久那小学校

### 1 研究主題

#### (1) 研究テーマ設定の理由

豊かな自然環境に恵まれた本校では、学校応援団を中心とした地域との交流を生かす特色ある体験活動を行っている。その体験活動を通して、地域との連携を深め、心豊かで地域に愛着を持った児童の育成を目指し、本研究のテーマを設定した。

#### (2) 研究計画

##### ○研究のねらい

学校応援団を中心に、学校内外での学習や体験活動を通して、自然や地域と交流し 児童の豊かな心や学校・地域への愛着心の向上を図る。

### 2 本校の取組

#### (1) 学校果樹園を活用した取組

毎年6月に果樹園の梅の木から梅を収穫し、6年生が総合的な学習の時間に梅干し作りを行っている。また、学校果樹園の柿や地域の方からいただいた柿で、2年生が生活科で柿の収穫と干し柿作りに挑戦した。



#### (2) 学校農園を活用した取組

4年生は学校農園で収穫した大根を使ってたくあん作りを行っている。たくあんを漬ける準備(洗う・縛る・干す等)はすべて子どもたちが行い、大根を干し終わった後、学校応援団の方からたくあんの作り方を教わっている。



#### (3) 学校ミニ田んぼを活用した取組

5年生が総合的な学習の時間で学校応援団の方のご指導のもと、稲作体験(苗づくり～代掻き～苗植え～生長観察～稲刈り～脱穀～粃摺り～精米まで)を実施した。



#### (4) 郷土料理作り

4年生が総合的な学習の時間で、秩父の郷土料理を作る学習を行った。学校応援団の方に教えていただきながら、慣れない道具を使って、秩父の郷土料理「おっきりこみ」作りに挑戦した。



#### (5) 地域伝統芸能「獅子舞」の継承

3年生が総合的な学習の時間で、久那地区伝統の獅子舞を学習している。

#### (6) 埼玉県指定天然記念物「ステゴビル」の観察と江戸時代の古文書の見学

久那地区には、埼玉県指定天然記念物「ステゴビル」が群生する場所があり、10月頃に3年生が観察している。また、その場所を所有するお宅が保管している貴重な「平賀源内古文書」も拝見させてもらっている。

#### (7) ジャランポン祭り調べ

3年生が久那地区に伝わる奇祭「ジャランポン祭り」を調べている。

### 3 成果と課題

#### (1) 研究の成果

○地域の方々や学校応援団の方との交流を通して、ふるさと「秩父」のよさを理解し、自然に対する興味・関心を高めることができた。

○社会科で学んだ農業や林業の人々の努力や工夫等が、実際の体験活動を通して実感を伴う学びにつながった。

#### (2) 今後の課題

●学校応援団の方が高齢化しており、指導者の後継者が課題である。これらの体験活動を持続可能な活動にするために、より効果的な教科横断的な教育課程を考え、見直し・検討等をして共通理解する必要がある。

## 「地域とのつながり・豊かな体験活動を生かした 児童の心と体の育成」

委 嘱 校 蓮田市立黒浜北小学校

### 1 研究主題

本校は登下校の児童見守り、クラブ活動、授業支援等のボランティアをはじめ、多くの地域人材に支えられて教育活動を展開している。令和4年度には、音楽やスポーツ、食育等にも幅を広げ、学校外からも講師を招聘し、教育を一層充実させた。令和5年度にはこれらの取組をさらに充実・発展させ、児童の健やかな成長のため地域とともにある学校づくりを目指して本テーマを設定した。

### 2 本校の取組

地域人材、外部講師による専門性の高い学習や多様な体験の機会を全学年に設定し、児童一人一人の心身の健やかな発達を図った。

- 4月 来校者や地域の方への情報発信コーナー（来校者受付）の整備
- 4～2月 地域ボランティアによるクラブ活動（4～6年太鼓クラブ、ボードゲームクラブ）  
ボランティアによる玄関の生け花
- 5～3月 蓮田お話の会ボランティアによる読み聞かせ（1～3年）
- 5月 児童の意識調査アンケート①の実施→本校の課題を把握し、体験活動へのフィードバックにつなげる。  
理科ボランティアによるやご教室（3年）  
社会歴史講座（6年）
- 6月 学校評議員会（10月、2月にも開催）
- 6月～ 食育指導（年間を通して1学年ずつ全学年で実施予定）
- 7月 がん教育（6年）  
地域防犯推進会議の開催（地域との情報共有）
- 10月 野口英世出前授業（6年）
- 11月～ 生と性の講話（2・3学期中に1学年ずつ全学年で実施予定）
- 11～12月 落ち葉掃き運動（縦割り班ごとに全学年実施）
- 12月 クリーン作戦（1～6年）
- 2月 ありがとう集会（1～6年）  
児童の意識調査アンケート②の実施→研究成果の確認、まとめ
- 3月 研究紀要の作成



【地域防犯推進会議】



【地域ボランティアによる太鼓指導】



【蓮田お話の会による読み聞かせ】

### 3 成果と課題

・自分たちの学校生活は多くの人に支えられていることに気づき、感謝の思いをもって進んで関わろうとする姿勢が育った。

・心や体についての専門性の高い学びを通して、自分や友達を大切にしようとする心が育まれた。



【ありがとう集会】



【生と性の講話】



【がん教育】

## 「地域と連携した活動による地域に貢献できる生徒の育成」

委 嘱 校 さいたま市立植水中学校

### 1 研究主題

本校では令和2年度からさいたま市教育委員会の研究指定を受け、3年間防災教育の研究に取り組み、「自助・共助・扶助」について研究して、地域への貢献について学んできた。これまで学んだことを地域に還元し、災害が起きた際は自主的・実践的に行動し、地域に貢献しようとする意識を育成したいと考えた。

また、本校周辺の地域は協力的ではあるものの、高齢者も多く、コロナ禍において触れ合う機会が減少していた。そこで、地域の方との触れ合いの機会を増やし、行事等に生徒・地域が一体となって取り組み、交流を図ることで、コミュニケーション力を育成し、地域における自らの役割を理解し、行動できる生徒を育成したいと考え、本テーマを設定した。

### 2 本校の取組

#### (1) 防災に関する取組

- ①中野林南地区防災集会・・・地域を訪問し、日本赤十字社から教わった救急対応の方法や段ボールパーティーの作成方法について、実演を行いながら説明を行った。
- ②西区防災訓練・・・地域の防災訓練に生徒が参加し、避難所での取組について学んだ。

#### (2) 小・中・高連携に関する取組

- ①輝き事業クリーン活動（地域清掃活動）・・・学校周辺の道路の落ち葉はきやゴミ拾いをPTAの方と一緒に実施した。
- ②西区競書会・・・大宮光陵高等学校にある書道科と連携を図り、市内西区の中学生（希望者）を対象に、競書会を開催した。

#### (3) 教育課程に関する取組

- ①未来くるワーク体験（職場体験学習）・・・2年生で、3日間の職場体験学習を実施した。
- ②赤ちゃん・幼児ふれあい体験・・・家庭科の授業の一環で、3年生で実施した。

#### (4) 地域とのかかわりに関する取組

- ①ふれあい体験講座・・・3年生を対象に、地域の方を講師として招いて体験講座を行った。
- ②地域花壇への花の植え替え・・・地域と連携して、学校周辺の環境整備に取り組んだ。
- ③土曜チャレンジスクール・・・地域の方を先生として招き、希望者に対して、自主学習会を実施した。

#### (5) その他

- ①校外学習（修学旅行）・・・京都・奈良方面で実施していた修学旅行を、函館方面に変更した。

### 3 成果と課題

本校の特徴である防災教育については、生徒アンケートより、約95%の生徒が「意識が高まった」と回答し、災害時には地域に貢献しようとする姿勢が見られた。しかし、実際に災害が起きた時に行動できるか不安に感じている生徒も多い。今年1月に能登半島地震が発生したが、災害を自分事として捉え、地域に貢献することができるよう、取組に工夫を加えていくことが今後の課題である。

また、防災教育に限らず、地域の方からも取組についての理解を得ることができ、生徒が笑顔でコミュニケーションを取ろうとする姿も見られるようになった。しかし、まだコロナの影響もあり、地域へ自ら積極的に関わる姿勢が不足しており、意識を更に高めていく必要がある。

# 「毛呂山を巡る豊かな体験活動を通し、地域を知り、 地域を愛する生徒の育成」

委 嘱 校 毛呂山町立毛呂山中学校

## 1 研究主題

「毛呂山を巡る豊かな体験活動を通し、地域を知り、地域を愛する生徒の育成」

## 2 本校の取組

### (1) 桂木観音巡り

中学校に入学し、学校生活にも慣れてきた時期に、校区内の代表的な歴史ある桂木観音への校外学習を実施した。同じ町内に住みながらも、訪れたことがない生徒も多く、町の豊かな自然に感動していた。



### (2) 校区史跡・文化財巡り事前学習

校区史跡・文化財巡りを実施するにあたり、毛呂山町歴史民俗資料館の学芸員をゲストティーチャーに招き、郷土の歴史を学んだ。生徒は専門家からの詳しい説明を聞くことで、郷土への関心を高めていた。

### (3) 校区史跡・文化財巡り

4, 5名のグループで校区内の史跡・文化財を巡り、ミッションに挑むというスタンプラリー形式で実施した。グループごと意欲的に計画を立て、協力して活動を行うことができた。毛呂山町社会福祉協議会のボランティアの皆様にご協力いただき、各史跡・文化財（13か所）にて、説明をしていただくことができ、生徒からは、「今まで知らなかった地域のことをたくさん知ることができた。」という声を聞くことができた。



### (4) 学習のまとめ

学習のまとめとして、新聞づくりを行った。一人一人の生徒が、地域を巡って学んだことを丁寧にまとめる姿から、地域を愛する気持ちが醸成されていくことを感じる事ができた。

## 3 成果と課題 成果○ 課題◆

- 一年間を通して地域に出て、自分たちが生活する地域にある史跡や文化財について学び、実際に見ることで、より地域の魅力を感じることができた。
- 校区史跡・文化財巡りでは、ミッションに挑むスタンプラリー形式で実施したことにより、生徒は、「楽しく」「意欲的に」学ぶことができた。
- 学芸員や地域のボランティアの皆様から説明をいただくことで、地域の人とのつながりを新たにつくることができ、地域の魅力をより身近に感じる事ができた。
- ◆外部機関や多くのボランティアが関わる学習の進め方であるため、事前の打ち合わせや様々な調整が必要となる。連携を適切に進める必要がある。

# 第59回「郷土を描く児童生徒美術展」

**趣 旨** 「郷土を描く児童生徒美術展」は、児童生徒が郷土を描き、その作品による展覧会を実施することによって、郷土埼玉に対する理解と認識を深め、郷土愛の高揚を図ろうとするもので、「埼玉県芸術文化祭2024地域文化事業」として行います。

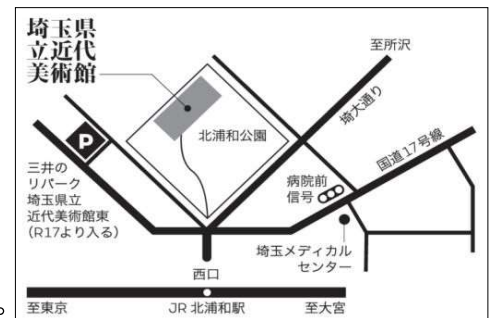
**主 催** 埼玉県校外教育協会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会

**共 催** さいたま市教育委員会 埼玉都市町村教育委員会連合会 埼玉県美術教育連盟

**期 日** 中央展覧会  
令和6年12月21日(土)～12月22日(日) 10時00分～16時30分 (12月22日は16時00分まで)  
知事賞作品120点を展示します。  
受賞者名簿(知事賞)は校外教育協会のHPに11月中に公開する予定です。

**会 場** 埼玉県立近代美術館  
(さいたま市浦和区常盤9-30-1)  
【電車】  
JR京浜東北線北浦和駅西口徒歩3分(北浦和公園内)

関係者を除く一般の方への駐車場の開放は行いません。  
御来場の際は、公共交通機関等の御利用をお願いします。



## ～第58回美術展の作品から～

**表 彰** 優れた作品には、賞状を授与します。

### 【区分】

特選：約1,010点  
(知事賞作品120点を含む。)

入選：約10,000点

知事賞作品は「画集 埼玉子どもの絵」  
(埼玉新聞社発行)に掲載されます。



「にぎやかだった春日部祭り」  
春日部市立江戸川小中学校 5年(当時)  
倉津 苑佳 さん

**H P** [埼玉県 校外教育](#) で [検索](#)  
すると協会のトップページから入れます。